

4 計画の基本的な考え方

4.1 計画の基本方向

ヒートアイランド現象は長期にわたる都市化が要因となっており、地球温暖化とともに市の気温上昇をもたらしてきたことから、これを増大させない、あるいは緩和するためには、都市の再開発や都市基盤の再整備の機会を捉えるなどにより、多様な対策メニューを長期間にわたって実施する必要があります。

したがって、本計画では緑化や保水性舗装等の対策の他、今後確立される対策も含めて、中長期的に施策を検証、改善しながら推進することとし、対策の進捗状況や検証結果等を適切に把握し、情報の共有化を図ることとします。

また、今後、概ね5年をめぐりに本計画の目標及び施策を見直すこととします。

4.2 計画の目標

**平成32(2020)年度までの計画期間内に
年平均気温及び熱帯夜日数を現状以下にする。**

なお、本計画において気温、熱帯夜日数等の指標は、気候の変動に配慮して10年間の移動平均値とします。

(参考)

年平均熱帯夜日数 43.5日 年平均気温 17.2℃

(平成13年～平成22年(2001年～2010年)(熱帯夜日数は6～9月)10年間平均)